

## 6月30日（月）収穫・掲示・電球

昼休み、二年生の子があるモノを手にして嬉しそうに報告に来てくれました。野菜の収穫を報告してくれたのです。ミニトマト、ピーマン、ナスがとれたようです。毎日世話をし、育ったものを手にした喜びは大きいようです。両手に野菜を持って、跳びはねるように話をしてくれました。育ててくれた生命の大事さと、それを見守った自身の責任感、行動力を感じてくれたら嬉しいです。

校内硬筆展を控えて、各教室の廊下には作品が並び始めました。このタイミングに合わせて、おうぎ学級ではそこに添える掲示物を作ってくれました。全学級に配布できるように、この時に合わせて掲示物づくりに取り組んでいたのです。この日の休み時間は、何人もの子が職員室や教室に行き、この掲示物を持って、担任に渡していました。硬筆展をご覧になった際には、この素敵な作品にも注目してもらいたいです。

理科室では、電球を明るくできるかを学んでいました。ちょうど教室に入った時には、これから実験で確かめるというクライマックスでした。子供たちは、実験をする先生の手元に注目しています。私の存在には誰も気づかないようです。子供たちの表情を見るために、先生の後ろに回ったところで数人が私に気づきました。嬉しいことに一人の子が声をかけてくれました。「校長先生、見ていて、おもしろいよ」と。もちろん見ていきました。



## 6月29日（日）ナス・草

7月を迎える準備があり、出勤。外は暑く、少年野球の練習も短時間で終わったようです。退庁する際に、二年生の畑に行ってみると、ミニトマトも辛そうです。しかし、ナスは元気。誰かが水をあげたことが分かります。ひと株ひと株に名前がついているようで、「なっちゃん」がとても元気でした。



もう一つ気づいたことがあります。**草取り**の後です。誰かが、金曜日の夕方か昨日に作業してくれたようです。こういう人がいるからこそ、子供たちも野菜たちも元気に生活できるのだと思いました。**感謝**の気持ちを持ちながら退庁できるのは、とても**幸せ**なことです。

## 6月28日（土）給食

暑い一日でした。外に出るとボーッとするほどの暑さ。まだ六月とは信じられないくらいです。本日は、子供たちに7月の給食献立を配信しました。7月15日、一学期最後の給食は「**夏野菜カレー**」です。これを見て少し元気になりました。7月、もっと暑くなったらどうなるのか、老体にむち打ってがんばるには、食が何と言っても大事です。



## 6月27日（金）歌・染め物・公平

**三年生**が社会科見学に行くので見送ろうと校庭に出ると、二人の**六年生**を見つけました。この暑さの中で何をしているのか興味があったので「何していたのか」聞いてみました。一人は**教科書**のようなものを持っています。「練習です」というので、理科の実験・観察かなと思って「理科ですか?」と確認すると、「**音楽**です」と返ってきました。歌を覚えるために、二人で校庭で練習をしていたのです。二人とも、本番で**しっかり歌**っていました。自走する子が育っています。



アミーゴに行ってみると、三年生が施設めぐりと茶染め体験をしていました。およそ7種類の模様ができるとの説明を聞いた**三年生**は、自分が思い描くように作業をして、染め上がった**ハンカチ**を手にしていました。最初に出来上がった四人を担当が写真を撮っていました。四人とも**笑顔**が止まりません。最高のお土産ができました。世界に一枚だけのハンカチ。**大事**にしてくれるでしょう。



一年生が道徳で「物を大事にする」ことを学びました。みんなで使う物をどんな気持ちで使っているかと問われた子供たちは、次のような発表をしました。「壊さないようにしている」「大事にしている」「ルールを守って使う」「ていねいに使う」「傷つけないようにする」「ふざけないようにする」。一年生なりに、物を大事にする気持ちは育っていると感じました。この時間の学習を通して、さらにその心情を高めていきました。



## 6月26日（木）風力・店・公平

三年生が理科で、風の力で動くおもちゃ（車）を作りました。風を受ける帆に風を当てて、さっそく走らせることになりました。広い渡り廊下でどれくらい走るのか。強風と弱風の時の距離を調べるのが学習のねらいですが、子供たちの関心は「誰よりも遠くまで走ってほしい」こと。私が見ている間、最高記録7m70cmが出ました。走り幅跳びの世界記録と比べてみようと思いきやすぐに調べました。女子の世界記録を超えたことが分かりました。



昨日、本日とおうぎ学級が育てたジャガイモなどを、職員に向けて販売しました。「おうぎショップ」開店です。今年は職員が育てた玉ねぎの販売も委託されており、自然に販売には力がいったようです。もし売れ残ったら中学校に差し上げようと思って見ていたのですが、あっという間にほぼ完売してしまいました。「いらっしゃい、いらっしゃい」「ありがとうございました」「安いよ安いよ」「おいしいよ」の元気な声は、約15分間止まることはありませんでした。完売、おめでとう。



四年生の道徳では「公平」について学習しました。導入では「公平とはどんなことか」を問われた子供たちは、学び合いの末に、次のような発表をしました。「平等」「どっちもどっち」「価値が同じ」「同じ態度」「お菓子が6つあったら、同じ数ずつ分けること」「スイッチが1つだったら、同じように使うこと」。なぜ公平が大事なのか、公平



とはどんな心情なのか、教材を通して張り切って楽しく学んでいました。

## 6月25日（水）問い・勇気・アサガオ

本年度第一回目の研究授業を6年生が実施しました。国語です。昨年度まで二年間は算数を行っていましたが、今年度は国語と合わせて二教科で行っていきます。テーマは子供の「問い」が生まれる授業です。この授業でも、学習から生まれた「問い」から始まりました。教師から「AかBか」と問われた場面では、「一つに決められないのでは？」という問いが生まれました。その子は「4：1でA」という自分なりの結論に達しました。このような考えが学級全体で大切にされていました。

三年生の道徳で「勇気」とは何かを学び合う場面がありました。「こわくても立ち向かうこと」「あきらめないこと」「難しくても進んで取り組むこと」「挑戦すること」「悪いことはやめること」「悪いことにはやめてと言うこと」「心が強いこと」といった意見が出ました。その通りだと思って聞いていました。勇気の大切さを学び、勇気を出して行動するために、一時間の学びがありました。

一年生の道徳で、育てていたアサガオが枯れそうになったらどうするかを考える場面がありました。私の前にいたペアの二人は「自分の水分をあげたい」と話していました。他の子は「水をあげる」と発言しました。「どんな言葉をかけて水をあげるか」と先生に問われると「しっかり育ててね」「たくさん咲いてね」「いろんな花を咲かせてね」などの言葉がありました。この段階では「ちゃんと世話なくてごめんね」など、反省の念までは出てきません。学習を通して「自分にも責任がある」ことに気づいていきました。



## 6月24日（火）扇小・勉強・命

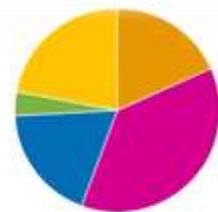
日本に「扇小学校」がもう一つだけあることを知ってから、何とか繋がりたいと計画をして、本日ついに願いがかないました。オンラインですが、児童会の代表の子同士で第一回の情報交換会を実施しました。足立区立扇小学校は、あいさつ運動に力を入れていて、扇っ子祭も毎年盛大に行っているようです。同名の児童会行事をやっていることに、驚きましたが、最驚くことがありました。足立区では、5年宿泊学習、6年修学旅行、ともに二泊三日なのだそうです。

講話朝会では、次のような話をしました。「自分の良さを磨いていると自分も周りも幸せになる。自分の良さを磨いていると、今も、将来も幸せになる」。その上で、3つの質問に答えてもらいました。①幸せになりたいか ②勉強ができるようになりたいか ③勉強ができるようになるために、学校に何をしてもらいたいか……。子供たちの要求を総合すると「もっと学び合いの時間にしてほしい、もっと難しい問題に挑戦させてほしい」というものです。

五年生の道徳では、「命の大切さ」について学び合いました。命は大切か、命を毎日大切にしているか、毎日喜びが5つ以上あるか、などの質問に答えた子たちが、その答えた思いを話しました。毎日の喜びでは、「食事ができる」「帰ると家族がいる」「清潔な空気を吸える」「学校で友達に会える」「好きなことができる」「おいしい水が飲める」などが発表されました。私も聞いていて、一つひとつに喜びを感じて生きていかななくてはいけないという思いにさせられました。

## 6月23日（月）自転車・チョウ・世界

四年生が交通安全教室で、自転車の正しい乗り方を学びました。指導員さんや、保護者の方、友達が見ている前で正しく自転車を運転したことには、とても緊張したよ



● もっと、先生の話を説明してほしい。: 77 (18.2%)
● もっと、学び合いの時間を増やしてほしい: 158 (37.4%)
● もっと、難しい問題に挑戦させてほしい: 76 (18.5%)
● もっと、宿題を出してほしい: 16 (3.8%)
● もっと、勉強しやすい教室にしてほしい: 93 (22.0%)



うです。「知らないこともあった」「今までしていなかったこともあった」「入間市の事故を知って、こわくなったので、もっとしっかり運転したい」「最低でも15秒は周りを見るようにしたい」などの感想が聞けました。大事なことをたくさん学んだようです。

朝、校長室に三年生が一人やってきました。ビンの容器を持っています。報告したいことは「イモムシから育てていたチョウが、今日の朝、誕生した」ということです。一人でここまで育てたことを、誇りに思い、私に伝えたかったのでしょう。きっとこの子はたくさんの学びがあったはず。探究したはず。自走する子が育っています。

二年生の道徳では「世界の国の人たち」という教材で国際理解について学び合いました。教材に各国のジャンケンの絵が紹介されているのを見つけると、数人がそのジャンケンを始めました。先生の指示がある前です。正に自走する子です。この活動を見た先生も、「じゃあ、みんなで、いろんな国のジャンケンを試してみよう」という指示を出しました。「ジャンケンポン」と、活動を始めましたが、他の国ではどんな合図でジャンケンをするのでしょうか。私も「？」が生まれました。



## 6月22日(日) 映画

連日暑い日が続きます。今が六月だということを忘れてしまいそうです。本日は出勤をせず、映画を観てきました。話題作ですが、三時間という大作だったのでなかなかその時間がとれずにいました。暑さと長さで寝不足がすっとんでいくような内容、映像の力、演技でした。人が何かをつきつめることの尊さ、日本文化の美しさなどなど、たいへん感動しました。



## 6月21日(土) 俳句

やることがたくさんあったので、出勤しました。一番張り切って楽しく取り組んだのは、修学旅行で六年生が作った俳句を見ること。そして、最優秀作品を選ぶことです。今年が一番気に入った句は、次の通りです。

滝を見て つかれた心を いやします

早起きして出発した初日。ハイキングでの披露。でもゴールまで歩くという決意。そんな気持ちが伝わってきたので、選ばせてもらいました。



## 6月20日(金) 玉・高齢者・問題

図工室では、**五年生**が「ビー玉コロコロ」の作成に取り組んでいました。毎年見る風景ですが、とっても楽しい活動です。子供たちは作りながら、**ビー玉の転がり状況**を確かめています。ビー玉がたくさん降ってくる街を作っている子がいました。1つだけでもゴールするのが難しいのに、複数のビー玉を一気に落ちるようにしたいのだそうです。「**できる**」と思わなければ、何も**始まらない**ということを、教えてもらった気がしました。

**四年生**がバリアフリーの探究に取り組んでいます。ある子が「**高齢者が困る4つのこと**」をまとめていました。すぐに読みたくなりました。この子がまとめた4つとは「**ゴミ出し**」「**階段の上り下り**」「**料理**」「**人とのコミュニケーション**」です。今のところ私はこの4つには困っていませんが、このうちの1つは**ほとんどやらないこと**。今からでも始めてみようと思います。そして困るまで**続けて**いきたいです。

**一年生**の「算数チャレンジ」問題に、**問題作り**が登場しました。「**2 + 3**の問題を作ろう」というもの。これが子供たちにとっては難しかったようです。まず問題作りが初めての子が多いこと。まだまだ「**合わせる**」**場面**を思いつく子が少ないこと。**与えられた**問題ならば、ほぼ全員が



解決できるようになっているので、このような問題はとっても大事にしたいものです。

## 6月19日（木）体育・針・辞書

熱中症指数が上がり、二時間目以降は外体育はできない日となりました。同様の日が数日続きます。休み時間の外遊びもできません。2年生の教室では室内で体育が行われていました。音楽に合わせて踊っています。動きとかけ声で思い出しました。昨年度の運動会で披露したダンスです。覚えているものなのですね。体を動かすには、もってこいの活動だと、子供たちの動きを見て思いました。

五年生の教室では、裁縫を行っていました。今日から始まると子供が教えてくれました。針を取り出し、糸を穴に通す活動が始まると、教室に静寂が訪れました。「できた」という声がなかなか聞こえてきません。先生も「糸通し」の使い方をTV画面で伝えているのですが、それでもなかなか通りません。私も五年生のころ、糸が針の穴に通っただけで、じっとしてられない喜びを感じたことを覚えています。喜びは続きませんでした。

三年生が辞書を使って語句調べをしていました。黒板に書かれた言葉を調べていくのですが、いつもぶっちぎりに早くその語句にたどり着く子がいます。担任に頼んで、早く引くコツを発表してもらいました。「1年生から使っている」「ページの上の言葉を見ている」ことを話してくれました。ページの上の言葉は「はしら」というそうです。みんなで「はしら」を調べると、しっかりとその意味が書いてありました。

## 6月18日（水）遺産・買い物・小世界

修学旅行二日目。まず訪れたのは世界遺産、日光東照宮です。ガイドさんの解説を聞きながら県学となりました。家康のお墓を一周する頃には、汗だく。こんなに暑い中で



ここを回るのは初めてです。ガイドさんも、額に汗をしながら熱く語ってくれました。寝不足の子にとっては少し辛い時間だったでしょうが、体全体で世界遺産のパワーを感じてくれたことでしょう。

東照宮から歩いて昼食兼お土産屋さんへ。汗は止まらず。昼食のカレーライスと最後の買い物です。残金と相談しながら買う物を選んだり、どのキーホルダーにするか迷ったりしている子で店内はあふれかえります。前後半に分けたとは言え、60人以上が一斉に買い物をするので近くに行くだけで、また汗が出てくるようでした。誰に買ったのかを聞くと「家族」「友達」を押さえ、一番多く返ってきた答えは「母」でした。

最後の県学場所は、東武ワールドスクエア。入り口に集合した時の子供たちの表情は疲れ気味でしたが、いざ中に入ると、グループごとに張り切って見学を始めました。しおりに書いてある問題に真剣に取り組む子もいました。「行ってみたい」「調べてみたい」という言葉以上に子供からできたのは「よくできている」「よくこんなところまで作ったな」でした。見学が始まる時に作った句は、「旅ラスト 小さな世界 大あくび」でしたが、下の句は思い過ごしでした。「大はしゃぎ」にすべきでした。

## 6月17日（火）滝・戦場・シカ

修学旅行初日。快晴。出発式から汗が出るくらいの暑さの中、日光に行きました。最初の見学は華厳の滝。少し涼しさをもらえるくらいの滝の水でした。昨年度はほとんど水が無かったことを思い出します。「今年一番、量が多い」とガイドさんに教えてもらったとおり、かなりの迫力で子供たちも大満足だったようです。私は今年、華厳の滝を初めて上からも見ることができました。

昼食後、戦場ヶ原ハイキングの前に大きな戦いが待っていました。集合写真です。まずは他校より先にこの場所を確保する戦いがありました。撮影が始まると、カメラマン



からのOKが出るまでの戦いがあります。約 130 人の子が全員顔をカメラに向けるまで熱い撮影は続きました。撮影が終わってしまえばあとは歩くだけ。予定よりも短時間で全員が完歩。昨年度、クマと雨の影響で断念したことを考えれば、今年は最高の環境でした。

子供たちより先にホテルについて私の目に、真っ先に飛び込んできたのは親子のシカです。思えば昨年度も、この場所に同じ親子がいたと思い出しました。ホテルの方も「いつもこの辺にいる」と教えてくれました。シカも扇っ子を歓迎してくれているようです。シカを裏切ることなく、ホテルの生活は大合格でした。時間を守るし、きれいに使うし、声をかけ合って楽しく過ごすことができました。自己申告を信じれば、睡眠も十分でした。



## 6月16日（月）長さ・正直・明日

おうぎ学級では「長さ当てゲーム」を行っていました。測ってみたい場所（物）の長さを当てるのです。当たっていたかどうかは、実際に測定をします。いくつかの答え（測定前の予想）を紹介します。なわとび：2 m 7 cm、フリスビーの周り：1 m 3 0 cm、バトンの縦：2 0 cm。黒板から掲示板：3 m 1 3 cm。ピタリ賞やニアピン賞がどれだけ出たか。測定はみな、意欲的に行っていました。



四年生が道徳で「正直」について、学びました。その中で、これまでにごまかしをした体験を出し合う場面がありました。授業のねらい通り、正直に告白する子がたくさんいました。「ゲームでズルをした」「まだやってないのに、『やった』と言った」「宿題終わった』と母にうそをついた」「料理をしてケガをしたけど黙っていた」など。今こうやって、正直に発表できるのも、素敵だと思って聞いていました。



六年生の大イベント、修学旅行が明日になりました。昨年度は、クマと雨のせいでハイキングはできませんでした。今年の敵は暑さかもしれません。最後の指導をしてい



るクラスがあり、一番に話していたのは持ち物に名前を書くということ。学校名も書く、人間市立も書いた方が何かの時に届きやすいなどの情報もありました。今日は早く寝て、忘れ物をせずに、楽しい二日間にしてもらいたいです。

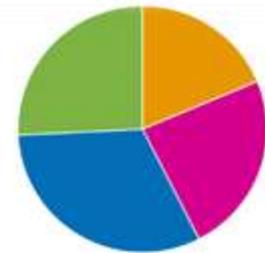
## 6月15日(日) 父の日

本日は父の日でした。2年前に父を亡くしていることから、特に意識をしていませんでした。ある店で飾られた「愛と感謝と旨いもの」という文字で気づきました。父の日を祝うという風習が我が家にはなく、お祝いをするようになったのは結婚してからでした。父が最後に「ほしい」とリクエストしてきたモノは本。しかも英語原版的な小説。天国でも、読書をしているのかな、と思いを馳せました。感謝の気持ちとともに。



## 6月14日(土) 校歌

開校記念を祝い、「校歌のどの歌詞が好きか」のアンケートをとってみました。すぐーるの機能を使ったので、任意での参加ですが、6割以上の子が投票してくれました。一位だったのは三番の歌詞「がんばって負けずに勉強しよう」でした。私は一番の歌詞か、「大好きな大好きなこの学校」の部分かと思っていたので、少し意外でした。子供たちが一番から三番まで、すべての歌詞を愛していることが分かったので、とっても嬉しい結果となりました。



● はりきって	たのしく	べんきょうしよう: 87 (18.7%)
● かたくんで	なかよく	べんきょうしよう: 111 (23.8%)
● がんばって	まげずに	べんきょうしよう: 148 (31.8%)
● だいすきな	だいすきな	このがっこう: 120 (25.8%)

## 6月13日(金) 練習・胚・獲物

おもしろい練習場面に出くわしました。クラスで集合写真を撮っているのだと思って教室に入ってみると、先生からこんな指示が出ました。「じゃあ、30秒で集まれ



るように、もう一度やります。いったん、バラバラになって」。バラバラになったのを確認してからまた「集合写真を撮ります！」と指示がありました。どうやら、来週に控えた修学旅行先での写真撮影の練習のようでした。

理科室では、テーブルに1つタマゴが配られました。

「胚」を見つける活動が始まりましたのです。ピンセットでおっかなびっくりに、殻をつついていきます。すぐに割ってしまったグループもあります。少しずつ突き、穴を開け、胚のありかを見つけた子は歓声をあげばかりに喜んでいました。タマゴの中をじっくり見ることはあまりないでしょうから、世界観が変わったかもしれません。

登校したばかりの子たちが、校門の近くに集まっていました。その理由を聞くと、「ヤモリがいた」というのです。ヤモリだってじっとしていません。その情報を聞いて数人が集まってきた時には、姿を消しています。子供のすごいところは、こういう時にあきらめないこと。「あっちに行ったはずだ」「いや、その下に潜ったかもしれない」しばらく見ていましたが、ヤモリは逃げ切ったようです。



## 6月12日（木）兄弟・長さ・体力

児童集会として、兄弟学級遊びの時間がありました。上の学年が計画を立て、進行してくれました。なんでもバスケット、ジャンケン列車、進化ジャンケン、震源地、しりとりなどなど、いろんな遊びを兄弟学級で楽しんでいました。どの教室もとっても楽しそうでした。盛り上がっている教室には共通点があることに気づきました。それは、上の学年も楽しんでいることです。お世話をするよりも、自分自身も楽しむことで、下の学年も自然と輪に入ってくるのだと、教えてもらった気がします。

三年生が校庭で算数をしているのを2つ見ました。1つはある地点から100mの場所を予測する活動です。1mの歩幅をそれぞれが獲得してから、100歩歩いて100m先を予測しました。もう一つは、ある場所から10mの



ポイントをメジャーを使って調べる活動。その点をつなげば、半径10mの大きな円ができます。その円を二階から観察した子が「マルだ」「じゃがいもだ」「タマゴだ」などと言ってました。

新体力テスト、一年生にとっては初めての活動です。六年生と一緒に取り組んでくれました。50m走では、六年生が前を走ってくれました。前を走る六年生に追いつくように走ったのです。六年生は「7割の力で走る」と言ってましたが、中には追い抜かれそうになって本気で走る六年生もいました。一年生の中には、かなりの脚力を発揮する子がいたのです。



## 6月11日(水) 向中・10・気孔

向原中学校区の学校運営協議会がありました。本年度一回目です。向原中、扇小の学校経営方針と本年度の協議会の重点を、委員の方に承認していただきました。向原中の授業の様子も参観しました。扇小の卒業生が真剣に学習に取り組んでいる様子を見て、嬉しくなりました。「おうぎ学級の子は元気ですか？ よろしくお伝え下さい」などと、私に声をかけてくれた子もいます。

一年生の教室のドアには「10の補数」を覚える問題が貼ってあります。「1と□」「2と□」「3と□」など10になるための□を答える問題です。昨日より朝は遊べない雨天。本日も数人が問題を解き合っていました。これを覚えておくと、次の繰り上がり・繰り下がりの時に計算が素早くできます。「9と1」「8と2」「7と3」など、合わせて10になる「なかよしの数」を梅雨が明けるまでにはみんなが覚えてくれると思います。

六年生が理科で、植物の気孔を観察していました。子供たちの感動の最大値は、顕微鏡で見た時ではないようです。それを写真に収めたとき。昔は、顕微鏡で見えたときに驚きと感動がピークだったと思います。今は、それを、PCでうまく写真に撮れた時に「やったー！」とピークが



訪れます。当然「見て見て」と案内されるのも、顕微鏡のレンズではなく、うまく撮れた写真の方が多いのです。

## 6月10日（火）誕生日・角度・雨音

五年生の外国語では、英語で「誕生日に何がほしいか」を友達と伝え合っていました。ワークに書いてあった物を見て回ると、このクラスでは「マネー」お金が多いことに気づきました。自転車、タブレット、イヤホン、サッカーシューズ、バットなど書いている子もいましたが、お金が一番。逆に言えば、「欲しい物」自体があまりないのかもしれない。

四年生の算数では角度を測る学習をしています。この日の課題は、時計の七時の角度を測ることで、二時を示す針の開きが60度であることは、全体で確認して、学び合いに入りました。すでに「 $30 \times 7$ 」で210度と考える子がいました。一時が30度だからその7つ分ということです。またある子は、6時が180度だから、残りを測ってみたら30度。 $180 + 30$ と考えました。いろいろな考えが登場したとても楽しい活動でした。

体育館での音楽朝会。開始前に全員が口を閉じて、雨音を聴く時間がありました。体育館がとってもしっとりした雰囲気になりました。合唱したのは「すてきな友達」。

♪ 悲しいときも 仲間がいれば つらくはない

♪ 苦しいときも 仲間がいれば つらくはない

雨の日でしたが、この歌詞を扇っ子が100%の声で歌い上げました。



## 6月9日（月）粘土・マット・大声

二年生が図工で粘土を扱っていました。タワーを作るのだと意気込んでいました。袋から出したばかりの粘土を柔らかくするのがまずは大仕事。「気持ちいい」と言いながら楽しそうに感触を楽しんでいる子もいれば、恨み



でもあるかのようにグーパンチを粘土に浴びせている子もいます。その中間の子もいました。鼻歌に合わせてリズム良くパンチを繰り返していた子です。

四年生がマット運動をしていました。最近体育館でのマット運動を見ることが増えています。下の学年との違いを感じるの「恥じらい」です。私が行くと「見て見て」とばかりに先を競って技をするのが低学年。四年生にもなると数人が恥ずかしがって、先を譲るのです。「どうぞ、どうぞ」の世界です。失敗しても何度も挑戦する年齢を過ぎると、上達がだんだん難しくなると言われるのが分かる気がしました。

暑さも気になったので、外の体育を見に行くと大声が聞こえてきます。「ワーワー！！」と、かなりの大声。何気なく校庭全体を見渡している間に、数回聞こえてきました。「こっちまで暑くなっちゃうよ」とその子に言うと悪びれることもなくまた「わーーーーー」と声を出しました。ふざけているのかなと思ってしばらく見ていると、声の理由が分かりました。握力を測っていたのです。「ワー」が四回聞こえたので、左右二回ずつ挑戦したのでしょうか。



## 6月 8日(日) わんぱく相撲

第31回わんぱく相撲入間大会が行われました。扇っ子も20名を超える参加がありました。結果は総合準優勝。参加者みんなが張り切って楽しく相撲をとった結果です。主な成績として、六年男子団体、六年男子個人、二年女子団体が優勝を勝ち取りました。負けて悔しがる涙もたくさん見ました。豊かな体験を通して育つのは、体力以上に「豊かな心」だと思います。他校のこと体をぶつけ合い、仲間と共に戦い、得るモノは大きかったはずです。



## 6月 7日 (土) 中継・取材

本日は午前中だけ学校で仕事です。一年生の算数テスト（小学校初テスト）、俳句チャレンジ応募作品、五年生の社会科ノートなどに目を通しました。また、たまっていたHP更新データも作成しました。

通勤時にラジオから流れてきた中継先は、我が家の近所でした。そして、夕方出かけた先では、TV番組「〇〇街・・・」の取材をしていました。何の関係もないのですが、非日常のことが起こると「いいことがありそう」な予感がします。



## 6月 6日 (金) 5分・チョウ・声援

おうぎ学級の体育に参加しました。ラジオ体操も本気でやると、それだけで汗をかきます。その後の5分間走では、走る前に全員が目標を宣言します。久しぶりの運動なので、私は「4周」を宣告。同じ目標の子の後ろを走りました。5分間は意外と長く、結果目標は達成。私の前を走っていた一年生の体力に驚かされました。少し練習を重ねて、次回は5周に挑戦します。

三年生の教室に行くと、ある子が「チョウが生まれた」ことを教えてくれました。今日の朝、立派なアゲハチョウになったそうです。幼虫を学校に持ってきた子は、さなぎになってチョウになるまで、日々観察をしてきたようです。チョウになった瞬間は「感動した」と言っていました。その周りにいた子も、チョウの自慢よりも、飼育者である友達の自慢を私にしてくれました。こういう子たちが、私の自慢です。

五年生がシャトルランに取り組んでいました。暑さが心配なので見ていました。走り続ける子と同じように、カウントしている子の声援が気がかりになってしまいました。「がんばれ!」「あと少し!」「いいぞ!」などなど、途中から、大きな声の声援がずっとずっと続くのです。座



っているとはいえ、声を出すだけでも汗が出てくるような暑さがありました。

## 6月 5日（木）誕生・数える・水泳

6月8日は、本校の51回目の開校記念日です。今年は日曜日になりました。本日、扇小学校の担女王を祝って、各クラスで学び合いをしました。問題は2つです。校歌の四番を考えること（「張り切って楽しく勉強しよう」□囲みの部分）。空き教室の有効利用のアイデア。六年生の教室で活動を見ていましたが、素敵な案がたくさん登場しました。改めて紹介したいと思います。

二年生の算数では、100より大きな数について学びます。この時間は、各班にカップいっぱいに入ったブロックを数えることが主たる活動です。十ずつの束を作る子がほとんどでしたが、この続きが子供によって違います。自分の机の上のブロックの数が「43」だったとします。ある子はすでに分かったので、全部を束ねてしまいます。ある子はカップに戻します。ある子は、あまった3を他の子に渡します。分かりやすく「数える」こと、大事な概念を学び合いました。

水泳が始まりました。今年の先陣を切ったのは三年生です。水に慣れるまでに、じっくりと時間をかけていました。「久しぶりにクロールをして楽しかった」「バタフライの復習をした」「とにかくみんなで泳いだから楽しかった」「寒かったけど、みんなががんばっていた」などの感想を聞かせてもらいました。今年の夏も暑そうです。できるだけたくさん、安全に楽しんでもらいたいものです。

## 6月 4日（水）空・案内・保幼小

登校を見守っているとき、素敵な雲に気づきました。私が上を見ていると、登校してくる子の中に、空を見上げてくれる子がいました。班長が上を見ると、続いて歩いてく



る子も見上げることが多く、朝からたくさんの子が空を見上げたと思います。「きれいな空だね」「おもしろい雲だね」と私と会話をした子もいます。登校時、車に気がつけることが一番ですが、たまには空を見上げてみたいと思いました。

二年生と一年生が学校探検を行いました。二年生がピカピカの一年生に学校内を案内してあげる活動です。私が近づいていくと「あれ、校長先生だよ」と紹介してくれる子もいました。「学校で一番えらい先生なんだよ」と解説している声も聞こえてきました。ある子は、職員室前に掲示してある職員の写真の前に一年生を連れてきて、一人ひとり先生の名前を紹介していました。一年生に先生の名前を知ってもらうのは、大変ありがたいことです。

午後、保幼小連絡協議会。近隣の保育園・幼稚園の方が一年生の様子を見に来てくれました。授業後は一年担任を交えて情報交換等を行いました。「入学してすぐPCを使いこなしているのがすごい」「しっかり座っていて安心した」「字を見ると・・・」などなど、小学生になった姿についての感想もたくさん聞かせてもらいました。三月までお世話になった先生の姿を見て、嬉しそうに手を振っている子がたくさんいました。



## 6月 3日 (火) 勇気・目標・誕生日

本日の講話朝会では「勇気」について話しました。勇気には二種類ある。やった方がいいに決まっていること、分かっていることを「やる勇気」。やらない方がいい、やめた方がいいと分かっていることを「やめる勇気」。その勇気は使えば使うほど、人から信用されるようになる。強い人になる、と話しました。「勇気」を出して、良いことを張り切って行い、悪いことはやめる人になってもらいたいと願います。

一年生が学級目標を決めていました。いくつかのフレーズが黒板に書かれています。ちょうど、その中から選ぶ活



動になったところを見ることができました。上位3つは、3位「あいさつができる」、2位「うそをつかない」1位「みんなにやさしい」でした。どれも自走する子になるために必要なこと。よいものが選ばれたと思って見ていました。選ばれなかったものの中には「きゅうしょくをぜんぶたべる」「ゆずってあげる」などがありました。

おうぎ学級で素敵な場面を見ました。6月の誕生日会のお話し合いです。まずは誕生日の子を確認しました。そのときです。ある子が手を挙げました。「まだいるよ！」と。先生が書き忘れてしまったのかなと思いましたが、そうではありませんでした。指名されて発表した名前、それは先生でした。先生の誕生日を覚えていた子がいたのです。もちろん黒板には、その先生の名前も書き足されました。



## 6月 2日 (月) プール・虫・倍速

本日、8時25分～六年生が児童代表で参加し、プール開きを行いました。私は次のような話をしました。「先日は五年生が火に祈りを捧げてきた。誓いを伝えてきた。今日は、六年生が水に、祈りを捧げ、誓いを伝えます。火と水は人間の生活にとって、なくてはならないもの。しかし、命を奪う力も持っている。だからこそ、扇小の代表として、真剣にプール開きをしましょう」。六年生は、真剣にこの会を進めてくれました。

中庭に行くと、三年生が、木の後ろに隠れていました。かくれんぼでもしているのかとしばらく見ていると、時より顔を出して、あるモノの確認をしています。それは友達ではなく、モンシロチョウです。自らの姿を消した方が、そのモノが近づいてくることを知っているようです。なかなかうまくいかないのは、私を含めて周りにも人がいたこと。そんなことは気にせず、しばらくこのかくれんぼは続いていました。

二年生が鍵盤ハーモニカを吹いていました。TV画面から流れる曲に合わせての演奏です。担任が「もっと速く



できる？」と聞くと、子供たちは「できる！」と元気いっぱいです。だんだんと速くなくても、何とか全体の演奏がそろっているのが分かります。最高の速さでやってみようということになり、挑戦が始まりました。子供の演奏はかなりバラバラでしたが「できた人？」と先生が聞くと、ほぼ全員の手が挙がりました。「ちょっとだけズレた」と正直に言っている子もいましたが、この自信、自走するためには、とっても大事なことです。



## 6月 1日(日) 運動会

6月。水無月。昨日は梅雨を思わせるような雨でしたが、本日はとても気持ちの良い天気となりました。昨日実施できなかった運動会を行っている学校が、近所にはいくつかありました。外出した際に、下校中の親子をたくさん見かけました。今日の活躍ぶりや喜び、悔しさなどを話しているのでしょう。感動体験を終えた日の親子の会話は、帰宅してからも続いてほしいな、とってしまいました。

